

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄
 No. C-10

【様式 2】

部門名: 地域とともにある学校実践部門	エントリー名: 釧路市立鳥取西中学校 幸村 仁 平成 30 年度第 1 回校長研修
活動名: 学校と地域の協働活動 ～地域人材と会社創っちゃいました～	
解決すべき課題: 「社会に開かれた教育課程の実現とは」、「学校と地域の協働とは」、「教員の働き方改革ですべきこととは」、この 3 点を課題として掲げ、その目標設定を行うために、中央研修を受講した。研修から得られたこの課題に即したワードは、「マネジメント」、「資源の活用」があげられる。そこで、整理したのが、「学校にとっての地域とは？資源とは？」、「地域にとっての学校とは？」である。これを解決の糸口として課題の解決を図ることにした。	
目標・方針: ①地域(校区)の企業代表者の話を聞くために、企業訪問を実行する。 ②地域活動を行っている自治会や商店会の方の話を聞く。 ③学校にとっての資源の洗い出しを行う。 ④学校内で「やりたいけどやれないでいること、改善したいけど改善できないこと」を整理する。	
活動内容: ①8社の企業訪問を行う。(社長、専務、総務部長等) ②商店会、自治会、地域活動推進者との面談を行う。(会長、事務局長など) ③④校内にプロジェクト委員会を立ち上げ、業務の整理を行う。	
活動の成果: ①学校への協力は惜しまないという思いはあるものの、自ら積極的にかかわろうとする意識(教育 CSR)が薄い。地域行事や協会等主催の出前講座を案内しても学校が反応しない。地域の学校とは、市内全部の学校という認識が強い。 ②中小企業や自治活動の人材不足、コミュニティの希薄さという課題を抱えている。 ③④校務を整理しても結局は教員がやらねばならないことが多い。業務の削減、部活動の縮減、IT等の導入に関して、教職員の意識が変わらない。外部人材を入れて授業内容を変えたいが、時間がない、どこにどんな適当な人材がいるのかわからない。 ↓ 【キーポイント】学校と地域をつなぐコーディネーターがいると解決することが多分にある ↓ 【学校と地域の協働活動をコーディネートする組織を創ってしまおう】 「一般社団法人学校地域協働センターラポールくしろ」の設立	
アピールポイント(アイディアや工夫): ①異業種人材による一般社団法人の設立 設立理事: 教員、学校事務、IT コーディネーター、キャリア教育コーディネーター、キャリアカウンセラー、地域創生オーガナイザー、観光クリエイター ②キャリア教育とプログラミング教育を中心とした教育の推進 ③コーディネーター養成事業 ④教員の働き方改革推進事業 ⑤行政、商工会議所、青年会議所等との連携	

【北海道新聞】

A I 社会で生きる力を



「ラポールくしろ」始動

地域の子どもたちを対象としたキャリア教育とプログラミング教育を推進するため、釧路市や同市ゆかりの教育、IT企業関係者が一般社団法人「学校地域協働センターラポールくしろ」(釧路市)を立ち上げ、本格的に活動を始める。18日には設立記念フォーラムを市内で開き、地域でできる教育について議論する。(光嶋あゆ)

ラポールくしろは2018年9月に設立。市内の学校教員やIT企業社員ら6人が理事を務める。子どもに将来就く仕事など生き方を考えさせるキャリア教育や、プログラミング教育の授業の開発、これらの授業を行う外部人材の派遣、授業内容を学校に提案するコーディネーターの養成などを行う。

同法人は今後の活動にあたって協力してくれる地域の企業や個人を増やし、学校との橋渡し役を務めたい考え。ラポールはフランス語で「心の通い合う」を意味する。この設立記念フォーラムをPRするチラシ

市内のIT関係者ら 18日に記念フォーラム

高度先端技術が生活のあらゆる場面に開く社会が到来しつつある今、子どもたちを取り巻く環境や、生きていくための力は大きく変わろうとしている。代表理事を務める幸村仁・市立鳥取西中学校校長は「未来がどうなるか分からないからこそ、これまでとは違う教育が必要となる。地域が一体となって子どもたちを育てなければ」と話す。

設立記念フォーラムは18日午後1時半から、釧路センターユースホテルホテル(大川町)で開かれる。キャリア教育、プログラミング教育の専門家による講演のほか、釧路市長らが「釧路の子どもの未来を創造する」をテーマに意見を交わす。参加無料。申し込みはホームページ(https://www.rapport.kushiro.jp/)から。問い合わせは幸村校長090・40877・1578へ。

【沿革】

- 2018.9 一般社団法人として登記
- 2019.2 「ラポール Café2019」開催
- 2019.4 「kintone を活用した教職員における校務モデル構築の実証実験」にかかわるサイボウズ株式会社との連携協定締結
- 2019.5 キックオフイベント「Rapport フォーラム 2019」開催
- 2019.5 プログラミング教育指導教員養成塾 in 釧路開催(事業協力: NPO 法人みんなのコード)
- 2019.7 校務モデル構築実証事業中間報告会開催
- 2019.8 総務省「地域 ICT クラブ」地域実証事業採択「くしろ I. City クラブ推進協議会」設立

【ラポール Café2019】



【Rapport フォーラム 2019】



【キャリア教育「地域探究」釧路明輝高校】

